

# 生きる力

SHINGON

特集

## 「生きる力」とお大師さま 子供たちとお大師さまの教え

生きる力 SHINGON

Vol. 120

春日山 常樂寺

玉川八十八ヶ所霊場第二十八番

多摩川のほとり、川崎市中原区宮内。府中街道から小道に入った閑静な住宅地の中に、たくさんの木々に囲まれたお寺があります。春日山医王院常樂寺。玉川八十八ヶ所霊場二十六番札所でもあります。

——おはようございます。

本堂へと続く参道を少し進んだところで、朗らかにお声をかけていただいたのは谷口順和住職。小雨の降る境内を一緒に歩いてご案内いただきました。常樂寺の庭には黒松、銀杏、樺、多羅葉、梅、孟宗竹など、さまざまな樹木が繁り、それらが雨に濡れて、生き生きとした緑を湛えています。山桃の太木、群生する棕櫚や、布袋竹など、特徴的な木々も境内をにぎわせていて、見る人を飽きさせません。ほんのひととき逍遙するだけでも、街中の喧騒から解放されて、心の安らぐ空間です。

常樂寺の周辺は多摩川の沖積地であり、境内からは古墳時代の勾玉や土師器が出土しており、古代から人々が生活した肥沃な土地だったようです。平安時代には藤原氏の荘園「稲毛荘」となり、川崎市の所蔵する最古の古文書「稲毛荘検注目録」「平治元年（一一五九）」には、宮中の祈願寺として建立された「新御願寺」（常樂寺）と、隣地に祀られた藤原氏の氏神である春日神社の



常樂寺の本堂は江戸時代中期の元禄年間（1688-1704）に建てられました。本堂内の格天井や板戸には常樂寺の縁故寺院である大本山高尾山薬王院から贈られた神代杉が用いられているそうです。

記録があります。境内の自然が保存されたのも、寺社の創建以来、この土地の鎮守として人々に大切にされてきたからなのでしょう。現在、常樂寺境内と春日神社の樹叢は、神奈川県天然記念物に指定され、かつ川崎市的重要史跡にも指定されています。

## 常樂寺の仏像と信仰の歴史

常樂寺は、元禄年間（二六八―一七〇四）に創建された本堂と薬師堂、そして重要文化財となっている仏像を安置する宝仏殿があります。本堂の内陣は美しく荘厳され、ご本尊である聖観音菩薩さまがお祀りされています。

ご本尊は平安時代後期の作と伝わり、素朴さのなかに優雅な雰囲気を漂わせています。また、内陣の脇の間には大日如来さまもお祀りされています。南北朝時代に造像された薬師如来さまと脇侍の日光・月光菩薩さま、その眷属である十二神将さまは、もともと薬師堂にお祀りされていましたが現在は宝仏殿に安置されています。

宝仏殿の中に入ると中世の仏像がずらりとお祀りされ、手を合わさずにはいられません。昭和四十年代に十二神将さまの修理が行われた際、胎内から百枚を超える修理名札が出てきたそうです。その修理名札は最も古いもので天文元年（一五三二）。それ以降、天正四

年（二五七六）、寛永十三年（二六三六）、宝永三年（二七〇六）、元文三年（二七三八）、文政五年（二八二二）、明治三十年（二八九七）、昭和二年（二九二七）と、度々修理が行われてきたことが判明しました。興味深いのは、修理名札には、それぞれの時代において、修復の施主となった地域の人たちの名が記されていることです。中世から現代にわたる常樂寺の信仰の歴史に深く感じ入りました。

「このお寺は、ずっと地域の人々、檀家の方々とそのご先祖さまたちによって守られ受

け継がれてきました。将来も檀家の皆さまと一緒にご先祖さまを大切に「ご供養してまいりたいと思います」

檀家の皆さまを大切にされる谷口住職。その思いと誓いは常樂寺の信仰の歴史に裏付けられたものなのでしょう。

## まんが寺のあゆみ

そのような歴史ある常樂寺にはもう一つの顔があります。それは「日本漫画博物館まん



- 1 宝仏殿に安置される薬師如来坐像と日光・月光菩薩像、そして十二神将像。中世から現代まで、篤信の人々によって何度も修理を経て伝えられてきました。川崎市の重要歴史記念物に指定されています。
- 2 常樂寺の境内は本当に緑豊か。野鳥もたくさんやってくるそうです。一帯は神奈川県天然記念物に指定されています。
- 3 朗らかなお声でお話をいただいた谷口順和ご住職。「常樂寺を守り支えてこられた檀信徒の皆さまをこれからも大切にしていきたい」と語ります。
- 4 常樂寺のご本尊、聖観音菩薩さま。柔和で優美なお姿です。



- 5 内陣正面の襖には弘法大師の絵伝が描かれます。描かれるお大師さまは、どれも可愛い表情です。
- 6 漫画家たちが経験した近代の戦争をモチーフにした漫画絵も多く見られます。
- 7 本堂の内陣隣の間。大日如来さまの正面の部屋には、浅草の凌雲閣などの歴史的建造物も描かれています。



が寺」。常樂寺を「まんが寺」として再興したのは先々代の住職 土岐秀宥師とぎしゅうゆうです。土岐住職は戦時中に川崎市電の建設に携わった際、そこに勤労奉仕隊として動員された日本漫画奉公会の漫画家たちと交流しました。漫画家たちは奉仕作業を終えると、作業をサポートしてくれた食堂や農家の方々に漫画の色紙を贈ったり、お店や家の壁に漫画を描いたりして、その心を和ませていたそうです。殺伐とした時代にあっても漫画をとおして

ユーモアを届け、人々の心を楽しませていた漫画家たち。土岐住職はその行為に感銘を受けられたのでしょうか。

戦後の昭和四十二年、本堂解体修復に合わせて、土岐住職はかつて交流した漫画家たちに声をかけ、本堂の壁、襖、欄間と至るところにユーモアたっぷりの漫画を描かせました。本堂を間仕切りにし、ご本尊前の十二面の襖には弘法大師絵伝を描き、その他の部屋は「明治の間」、「大正・昭和の間」と名付けられ、それぞれの時代の歴史風俗にちなんだ漫画絵がユーモアと風刺を交えて描かれています。漫画絵だけでなく、著名な漫画家の年賀状や、色紙、絵馬、小品なども掲示されていて、本堂中どこを見ても漫画絵だらけです。



#### ACCESS アクセス

##### 春日山 常樂寺

〒211-0051 神奈川県川崎市中原区宮内4丁目12-14  
 車：第三京浜道路 京浜川崎ICから約12分  
 電車：武蔵中原駅から徒歩約12分

撮影／清水健

常樂寺には四百名を超える漫画家たちによる、五千点を超える漫画作品が所蔵されているとのこと。漫画の一つひとつをじっくり鑑賞していたら、きっと半日あっても足りないでしょう。これらの漫画絵は近代日本の文化を伝える貴重な文化財といえそうです。

コロナ禍以降、本堂の一般拝観はお休みされているとのことですが、「『生きる力』をお読みになった真言宗智山派の檀信徒の方々には、ご予約いただければ本堂をご案内いたします」と谷口住職。その言葉もユーモアたっぷりです。名は体を表すというように、常樂寺は日常を楽しんで生きることの大切さを思い起こさせてくれるお寺です。

(智山教化センター所員／伊藤尚徳)

# 今日の法語 「結縁」

法語解説

中島 隆光 (大本山川崎大師平間寺中)

揮毫

結城 祐純 (東京都日野市 薬王寺住職)

# 結縁

仏さまと出会いご縁が結ばれることを

「結縁」といいます。

結縁することで自分の中の菩提心(仏の心)が  
芽生え、さとり(安心)に至る道がひらけます。

お大師さまは大日如来と出会い、

深い法縁を結び、真言密教を伝承されました。

そして私たちに心を整えるための教えを

今も伝えてくれています。

私たちも菩提心を起こし、心を整えられるよう、

仏さまやお大師さまと結縁しましょう。

それが安心につながるのです。



# 「生きる力」とお大師さま 子供たちとお大師さまの教え

## 心の豊かさを求めて

まもなく春のお彼岸の時期がやってまいります。「暑さ寒さも彼岸まで」といわれるように、この時期になると、陽光のぬくもりが山々を目覚めさせます。「野に出でて写生する春となりけり」といきたいところですが、年度末、新学期というこの時期は特に「忙しい」という言葉が挨拶のようになり、わずかばかりの自然の息吹に喜びを感じる心は亡くなってしまうかもしれません。では仮に「忙しくなかった」ならば、春の兆しに喜びを感じられたでしょうか。残念ながらその可能性は低いといわざるを得ないでしょう。自然の美しさや自分の心情を表現することにも、表現することで自然や人間の真実に迫ろうとすることにも、さらにいえば自然そのものと人間が切り離されているのだと感じます。先進的な技術が発展しても、五感をとおして感じることを大切にしなければならぬと強く思います。

このような状況への危機感の表れか、最近では、「感情のうち道徳的、芸術的、宗教的な社会的価値をもった複雑で高次元的なこと」である「情操」を教育でカバーすべく「情操教育」という言葉を目にするものが多くなりました。教育の場での「情操」の初出は明治三十四年（一九〇二）の中学校令施行規則に

ある「道徳上ノ思想及情操」とされます。その後幾度の戦争中、愛国心に立脚した「国民的情操」という言葉が使われ、現代では主に芸術に係わる科目に紐づけられた「豊かな情操」が使われています。情操教育という言葉がいつから使われているのかはつきりしませんが、おおよそ「道徳的情操」「美的情操」「科学的情操」「情緒的情操」の領域において教育することを指します。教育とその目的において情操を養えるかどうかは別としても、心の豊かさや人間としての生きる力が求められていることは間違いありません。

## 人を育てる道

真言宗の宗祖である弘法大師（以下、お大師さま）は、我々を含む自然のすべて、この世界すべてを曼荼羅世界のあらわれと捉えられました。お大師さまはすべての存在に仏さまとしての性質を認め、人は人として平等であり、肩書や財力などに無関係に尊い存在であるとの真言密教の人間観に基づき、実社会におけるさまざまな活動を行われました。多くの業績のうち、特に教育分野では、日本で初めての庶民教育のための学校、「綜芸種智院」を創立されたことが挙げられます。

お大師さまが活躍された平安時代初期は、平安京には大学、地方には国学がありました

が、いずれも国立の官吏養成機関であり、自由な入学が許されているわけではありませんでした。このほかにも特殊な官職に就くための職業教育として陰陽道や暦学、医学や薬学、音楽、織物の学校や、貴族階級のための私立学校がありました。いずれも一般庶民には関係のないものでした。このような時代にはただならぬ情熱をもって広く教育の場を解放したのがお大師さまでした。お大師さまが住まわれていた東寺（教王護国寺）の東隣りを藤原三守に寄進され、天長五年（八二八）、身分を問わず学ぶことができる綜芸種智院を開校したのです。

綜芸種智院では当時主流であった儒教教育だけではなく、儒教・道教・仏教をはじめインドの学問まで教えていたとされます。その教育理念は高く、「綜藝種智院式并序」に書かれた項目を見ると、

- ① 教育環境がよいこと。
- ② あらゆる学問を総合的に教育し、人間教育を眼目とすること。
- ③ 多くのすぐれた先生を得る必要があること。

- ④ 教師と生徒の生活を保障すること（完全給費制）。

とされています。要するに、綜芸種智院は教師、生徒が生活の心配なく総合的に学べる場であったことがわかります。そして目標とし

たのは「綜藝種智」に表されるように、あらゆる学問芸術を総合的に統一して、大日如来の完全なる智慧を伝えることにあります。まさにお大師さまの濟世利人の具体的な事業で



西福寺（南区九条池ノ内町）前に石標が建てられている。綜芸種智院の所在地はこの地よりも南東、九条弘道小学校附近と伝わっている。



西福寺前の石標。

あったといえるでしょう。

## 寺子屋の起り

寺院と教育というと「寺子屋」を思い浮かべる人も多いのではないだろうか。寺院での教育ということであれば、先に述べたように平安時代まで遡りますが、庶民の簡易な教育機関として寺子屋が成立したのは江戸時代になります。特に江戸時代中期以後にその著しい発達が見られ、幕末には江戸や大阪はもとより、地方小都市さらには農山漁村にまで多数設けられ、全国に広く普及しました。この頃の寺子屋は寺院で僧侶が教師を務めるも

のばかりではなく、平民、武士、医者などが自宅で教師を務めるものも寺子屋と称していました。寺子屋は庶民の日常生活に必要な実用的、初歩的な教育を行う施設であり、学習の大部分は手習いをする場でした。経営はボランティアに近いものといわれ、地域のために善意で運営されることも珍しくありませんでした。

## 子供たちに伝えたいもの

現在、各地の真言宗智山派寺院で開催される寺子屋は、学習のみならず、多くのプログラムを用意し、さまざまな形態で開催されて



常泉寺（新潟県魚沼市）の寺子屋の様子。江戸時代とは違って変わって仏さまの前の子供たちは背筋も真っ直ぐです。

「文学万代の宝、始の巻（上）末の巻（下）」（弘化3年頃）  
／一寸子花里（歌川花里）

始の巻は男子の席、末の巻は女子の席を描いている。手習いの大切さについて始の巻の讃では思いを後世に伝えること、末の巻では思いを遠隔地に伝えることが説かれる。

## 目次

|  |    |
|--|----|
| 智山寺院探訪 春日山 常樂寺                               | 2  |
| 今日の法語 (中島隆光・結城祐純)                            | 5  |
| 特集 「生きる力」とお大師さま<br>子供たちとお大師さまの教え             | 6  |
| よくわかる『智山勤行式』(佐々木大樹)                          | 10 |
| 智積院の修行生活 (長谷川優)                              | 12 |
| 梵字よもやま話 (小峰智行)                               | 14 |
| 日本の四季を切り取る十七文字 (星野高士)                        | 15 |
| 十卷章—真言宗の教えを紐解く— (駒井信勝)                       | 16 |
| 暦のおはなし (上村正健)                                | 18 |
| ごくらくらくご (三遊亭竜楽)                              | 19 |
| 知っておきたい仏事 Q&A                                | 20 |
| 読者アンケートから・おしらせ・編集後記                          | 22 |
| 真言宗智山派出版物のご案内                                | 23 |
| 寺院建築の心 (菊池恭二)                                | 24 |
| 総本山の便り                                       | 26 |
| 自と他の間にある利他 (伊藤亜紗)                            | 28 |
| 花に聞く 仏に聞く (佐々木隆元)                            | 29 |
| 私のお大師さま<br>ビジュアルで読む現代的性霊集 feat.Rieko (内藤理恵子) | 30 |
| 十善戒と生きる力 (佐竹隆信)                              | 31 |

います。例えばレクリエーションや念珠や灯ろう作りなどの工作を、七夕や十五夜などの季節の行事に加えたプログラムを組み、半日から一日、または宿泊を伴う活動をされている寺院もあります。しかし、どのようなプログラムであれ、その目的はお大師さまが目指されたものと変わらず、多くのことを学び、体験し、大日如来を中心とする多くの仏さまの智慧とお力をいただくことにあります。私たちはこれを「生きる力—仏さまに祈り、仏さまと出会う」という「私たちの目標」とし

て掲げています。

自然、いのち、過去・未来などの繋がりを意識し、私たち自身が「目に見えないけれど大切なもの」を感じ、そしていのちの源である仏さまの存在に気づけるような、寺院でしか味わえない体験をご用意しております。寺子屋開催の案内を目にした際は是非お申し込みください。皆さまのご参加をお待ちしております。

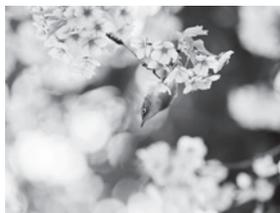
(智山教化センター所員/島玄隆)

表紙

 華やぐ里  
長野県


中央アルプスの麓、駒ヶ根市には田圃の土手などに毎年多くのスイセンが咲くところがある。山の稜線にはまだ沢山の雪を纏った姿が同時に見られることで多くの人を訪れては写真に収めている。天候の良い澄んだ空気ではアルプスをクッキリと撮り取めることができた。

P5

 はるの陽気  
愛知県


いち早く春らしい写真を撮りに河津桜が沢山植えられた公園に出かけた。満開に咲いた桜の樹々には沢山のメジロが群れており彼らの桜の蜜を吸いに花から花へせわしく飛び移る姿が愛らしく感じた。逆光の下木漏れ日の玉ボケとレンズのボケ感を活かして春らしく柔らかな感じに撮ってみた。

撮影・解説/大島隆義

# 智積院会館のご案内

洋室や和洋室など多様なお部屋で快適にお過ごしいただけます  
(1泊朝食付 ¥9,000～ 宿泊税・消費税込/夕食別途 ¥3,300～ 消費税込)。



和室A



和洋室A

世間の喧騒を離れて、400年前から変わらぬ、朝のお勤めへのご参拝、僧侶による名勝庭園や長谷川等伯一門の国宝の障壁画のご案内など、非日常をぜひご体験ください。



夕食 ¥5,500

※ご宿泊のご予約は、6ヶ月前の1日より開始いたします。



外観

## お問い合わせ

宿坊 智積院会館  
電話 075-541-5363

宿坊 智積院会館 HP ▶



ご予約は、お電話または智積院会館HPから

## 京都 総本山智積院

〒605-0951 京都市東山区東大路七条下ル東瓦町 964  
TEL: 075-541-5361 FAX: 075-541-5364

**宿坊 智積院会館**

- ◆ 1泊朝食付きプラン(夕食別途) 9,000円から(宿泊税・消費税込)
- ◆ 夕食 3,300円から(消費税込)
- ◆ ご予約・お問い合わせ TEL 075-541-5363
- ・ JR 京都駅よりバス約10分
- ・ 京阪電車七条駅より徒歩約10分

※ご宿泊のご予約は、6ヶ月前の1日より開始いたします。令和7年2月現在、令和7年8月までのご予約を受け付けております。

**子ども花まつり**  
4月6日(日) 11時より(参拝無料)

**仏生会花まつり お釈迦様のお誕生日**  
4月8日(火) 10時より(参拝無料)

**玄宥僧正誕生会(中興開山の祖)**  
4月17日(木) 10時より(参拝無料)

**写経のつどい(法話と般若心経写経)**  
毎月21日 13時より(受付12時より)  
於 智積院金堂地下ホール  
(納経料千円・要事前申込 定員60名)

**智積院阿字観会(真言宗の瞑想)**  
毎月8日もしくは12日  
14時より(受付13時より)  
※詳細はホームページをご確認ください。  
於 智積院金堂地下ホール  
(参加灯明料五百円・要事前申込 定員20名)

## 東京 総本山智積院別院 真福寺

〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-8  
TEL: 03-3431-1081 FAX: 03-3431-0203

**真福寺阿字観会**  
3月25日(火)  
4月22日(火)  
5月27日(火)  
各日とも15時より  
於 本堂  
(無料・要事前申込・定員30名)

**愛宕薬師ご縁日護摩供法要**  
3月7日(金) 12時より  
4月8日(火) 11時30分より  
※花まつり灌仏会法要  
5月8日(木) 12時より

**やすらぎ寄席**  
3月27日(木) 談志一門会  
4月17日(木) 三遊亭  
5月15日(木) 談志一門会  
各日とも18時30分より

Instagram



Facebook



総本山智積院 宿坊智積院会館

総本山智積院